

「ぼったくり」被害に遭わないために

そのお酒やおつまみの値段わかりますか？

飲み口の良い酒で客を泥酔させて、客が注文していない高額な飲食代金を請求して、キャッシュカードを預かり暗証番号を聞き出して預金全額を引き出す事件も発生しています。

自分が注文した飲み物や食べ物と請求書があるかを確認しましょう。



ぼったくり被害に遭わないために



- 1 客引きの甘い言葉に惑わされない**
客引きが「安くする」ことを決められますか？
本当に、そんなに安く済みますか？
どんな業種でも相場があります。相場よりも著しく安い値段は要注意です。
- 2 料金表示を確認する**
料金表の備え付けは、法律で決められています。
飲食する前に、値段を確認しましょう。
- 3 前後不覚になるまで飲まない**
自分が注文したものと請求書に記載されている内容があるか確認できるくらいの状態で店を出しましょう。

4 キャッシュカードを知らない人に渡さない

キャッシュカードを渡して、暗証番号を教えるということは、その口座のお金を全部渡すのと同じことです。

5 自分のクレジットカードから目を離さない

クレジットカードからの引き落としは、請求された値段と同じですか？
知らない間にスキミングされ、知らない料金を引き落とされるかもしれません。
自分のクレジットカードからは目を離さないようにしましょう。



それでも被害に遭ってしまったら

警察に早めに相談をする

時間が経てば経つほど、記憶も曖昧になり、関係記録も無くなっていきます。
警察に相談するときは、早めにしましょう。

自分の口座残高やクレジットカードの利用明細を常に確認する

自分の口座から不審な引き落としや送金はありませんか。
クレジットカードの利用履歴にあなたに覚えのないものはありますか。
ぼったくりの店で飲食した場合は、二次被害防止のため、特にこうした点に注意しましょう。



